

## 九州未来会議 阿蘇宣言

平成 26 年 7 月 13 日

わが国は「失われた 20 年」と言われた時代をようやく脱しつつあるが、一方では、人口減少社会への突入という深刻な問題に直面している。縮小していく国内市場に鑑みれば、あらゆる分野でグローバル社会へ積極果敢に挑戦していくことが、わが国の存続にとって不可欠である。成長著しいアジアに地理的にも文化的にも近い九州は、アジアの活力を取り込み、わが国のグローバル化の先頭に立つチャンスに最も恵まれている。

「九州未来会議 in 阿蘇」は、喫緊の課題であるアベノミックスに対応するとともに、30 年後を見据えた九州の未来を構築するために、大胆かつ実現可能なイノベーションが必要であるという結論に達した。それは、人材のイノベーションであり、産業のイノベーションであり、地域のイノベーションである。

人材のイノベーションでは、グローバル人材を生み出す教育プロセスの改革が必要である。「グローバル人材」は、単に語学ができたり国際経験が豊かということのみでは不十分である。これまで多くの指摘があったにもかかわらず実現できなかった「世界の中で日本人としての自尊心を持った個の確立・グローバル経営者」を育成する教育の九州モデルを追求する。また、外国人の受け入れを大学に委ねるだけでなく、産業界や自治体をはじめとして広く九州社会全体で担い、国際的な人材獲得競争力も強化すべきである。

産業のイノベーションでは、一次産業から三次産業まで、世界で通用する新しいビジネスや産業を生み出すプロセスの確立が必要である。基礎研究から事業化までの流れを作る産業技術基盤の構築である。ベンチャー育成においては、起業から産業集積までの各段階において、資金、人材、知的資源、インキュベータなどの支援体制、市場開拓等の分野について、柔軟な施策や制度のイノベーションがなければならない。収益性があり、安定的で、公正な世界標準のビジネス環境を九州に設け、海外からの投資や参入を図る。国家戦略特区を活用し、今後、国に具体的に提言していく。

地域のイノベーションでは、「九州」の意識を確立し、地域全体を一体として世界に通用する九州ブランドを確立することである。九州には世界レベルのすばらしい資源が多く存在するにもかかわらず、各県や地域で個別に海外に進出しているために、認知度の向上や品質への信頼の獲得が十分になされているとは言いがたい。農林水産品でも観光資源でも、高い品質基準を定めた上で九州ブランド戦略を確立し、九州内で切磋琢磨しつつ、世界へは力を合わせてオール九州で打って出ていかなければならない。2020 年の東京オリンピック・パラリンピックにおける日本文化の世界への発信として、「ドラマティック古事記」の式典への採用を目指す活動を九州ブランドとして取り組む。

以上 3 つのイノベーション・プロセスを構築し、我が国の精神文化と社会制度と科学技術を協調させ、人類の幸福とグローバル社会の発展に寄与して日本大改革を進めるため、九州が先頭に立つことを宣言する。

以上